

◎本校のビジョン(目指す子どもたちの姿)

「豊かな人間性とたくましい実践力を身につけた子ども」

◎本校職員のミッション(ビジョン達成のための使命・道筋)

「一人一人が『自分らしく』『一生懸命』勉強し、

『力をつける』三階小学校を創る」

暑い日が続きますが、風が吹くと涼しさを感じるようになりましたね。金城町の私の自宅では、夜は半袖だと肌寒いくらいです。保護者の皆様、地域の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

先日は、本校の運動会に、たくさんお越しいただき、ありがとうございました。お陰様で、子どもたちも張り切って競技することができました。また、会場の準備や、片付けを進んでお手伝いくださった皆様、本当にありがとうございました。

「ハレ」(非日常)と「ケ」(日常)の学びを、相互に生かす

校長 松本 潔

運動会に限らず、**学校における全ての学びや暮らし**は、三階小学校の一人一人の子どもたちが**力をつけるため**に行います。

運動会で力をつけるためには、「**競争相手**」が必要です。そこで、全校を4色に分け、それぞれ優勝を目指して競技や応援を競いました。



←運動会では**競争相手**が必要です。普段の仲間が、4色に分かれて、優勝を目指して競い合うことを通して、**力をつけていきます**。
↓



つまり、相手の色のみんなは、**競争相手としての「敵」**であると同時に、**共に力を高め合うための、大切な仲間**でもあります。

応援合戦のとき、**それぞれの色が他の色のみんなにエール**を送っていたのも、そのためです。**競技は一生懸命**に、そして決着がついたら**お互いの頑張りを拍手でたたえていた三階っ子**のみんなは、**とてもすばらしかった**と思います。



応援合戦でも、**自分の色のために精一杯の声を出し、最後は他の色にエールを送りました。** →

さて、運動会が終わったので、お互い大切な三階小学校の仲間と共に学び、暮らす日常が戻りました。

日本の伝統的な言い方を借りると、運動会等のイベント的な学習は、「**ハレ**」(非日常)の場であり、普段の授業等は「**ケ**」(日常)の場であるといえます。

どちらが大事かという**と、私はどちらも大事だと考えます**。「ケ」の日々の積み上げがないと、「ハレ」の日に力を発揮することができないでしょうし、「ハレ」の日がなかったら、暮らしに張り合いがなくなり、つまらないですよね。(裏面に続く)

普段の生活ではなかなか体験できない競技にも、**一生懸命取り組みました**。



綱引き競技→



↑**鼓笛パレード**も、6年生は1学期から練習に取り組み、本番では、**すばらしい演奏を披露しました**。



↑「浜っ子ハイヤ節」では、東 清司様はじめ会員の皆様のご指導の下、みんなで体を動かして表現する喜びを体験できました。私は今年度初めて踊りましたが、子どもたちは体が覚えていたようです。保護者や地域の方もたくさん参加していただき、子どもたちも笑顔でした。ありがとうございました。

三階っ子のみんなには、「ハシ」の場、「ケ」の場、それぞれで得ることができた力を相互に生かします。ますます力をつけて、磨いてほしいと思います。

今回、いろいろな事情で運動会に参加することができなかった子どもたちも、運動会後に転入してきた1年生も含めて、**202人の三階っ子のみんな**が、これからも、**それぞれ一生懸命に勉強して、力をつける**ことができるように、**学校職員でしっかりと支えて行きたい**と思います。これからも、保護者の皆様や地域の皆様のご協力を、どうかよろしくお願ひします。



↑「おじゃま虫？玉入れ」では、参加された保護者の皆さん、お疲れ様でした。おじゃま虫をものともせず、どちらの色も、すごい勢いで玉を入れておられましたね。